

「開倫塾12の躰(しつけ)プログラム」を身に着けよう

—各教科の知識と同時に躰も身に着けよう—

開倫塾
塾長 林 明夫

Q 1 : 開倫塾には「12の躰プログラム」があるそうですね。

A : (林明夫。以下省略)はい。

- (1)開倫塾の「高い倫理」という教育目標を具体的にお示ししたのが、「12の躰プログラム」です。
- (2)毎月1つずつ、少しずつでよいですから挑戦してみてください。
- (3)教科の勉強と同じように、学校でも社会に出てからも役に立つことばかりです。

Q 2 : どのような内容ですか。

- A :
- | | |
|-----|------------------------------------|
| 4月 | 靴は手でそろえる |
| 5月 | 自分で使った椅子と机をそろえる (自分で出したゴミはすべて持ち帰る) |
| 6月 | 整理 (いらぬものを捨てる) |
| 7月 | 清掃 (整理をしたら、その後をきれいに掃除する) |
| 8月 | 整頓 (物はいつも同じところに置く) |
| 9月 | 新聞を毎日読む (エッセイや意見文を書く) |
| 10月 | 読書に励む (詩や物語を書く) |
| 11月 | 辞書を活用する (哲学する) |
| 12月 | 収入の範囲で支出する (1年を振り返る) |
| 1月 | 自覚をもって学ぶ (新年の目標を決める) |
| 2月 | 学習の仕方を身に着ける |
| 3月 | 自分の将来を考える (自分の未来は自分の力で切り開く) |

Q 3 : ところで、躰とは何ですか。

A : 躰とは何かについて、いろいろな考えがあります。私は次の3つが大切と考えます。

- (1)自分から進んで行うこと
- (2)美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)
- (3)敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

Q 4 : 開倫塾の塾生として身に着けたほうがよいことは、12の躰のほかにありますか。

A : はい、たくさんあります。例をあげてお示しますので、開倫塾以外でも、是非、挑戦してくださいね。

- (1)まずは、先生や塾生に元気なあいさつをする
- (2)トイレは授業の前に済ませる
- (3)授業中は、手を机の上に置き、先生の目を見て話を聞く
- (4)授業中は、おしゃべり・居眠り・徘徊をしない
- (5)先生には「です・ます」調で話す。ぞんざいな話し方をしない
- (6)飲み物や食べ物は、机の上に置かない。鞆(かばん)の中に入れておく
- (7)机の上の消しゴムのカスは、自分のティッシュペーパーでまとめて持って帰る
- (8)鼻をかんだ紙や計算用紙などは自分で持って帰り、自宅で捨てる(自分で出したゴミは教室に残さない)
- (9)授業後は、自分で使った椅子と机を元の位置に整える。椅子は机の下にきちんと戻す
※まわりの椅子と机も整える
- (10)授業が終わったら、元気にあいさつをして帰宅する
- (11)自転車には必ずカギをかける。ライトをつける

Q7：最後に一言どうぞ。

- A : (1)食事をするときには、全員が着席するまで手をつけない
(2)食器を置くときは、音を立てない
(3)ごちそうをしてもらったときには、必ず手を前にそろえてお礼のあいさつをする
など、食事のマナー、躰もあります。

※勉強がよくできるというのは、テストでよい点数を取ったり、希望する学校に入学を果たしたりすることだけではありません。今回、お話ししたような躰を身に着けることも大切な勉強です。少しずつでよいですから、挑戦してくださいね。

2016年3月6日(日)記
(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)